

週間漁海況情報 2023年第23号

令和5年6月6日発行

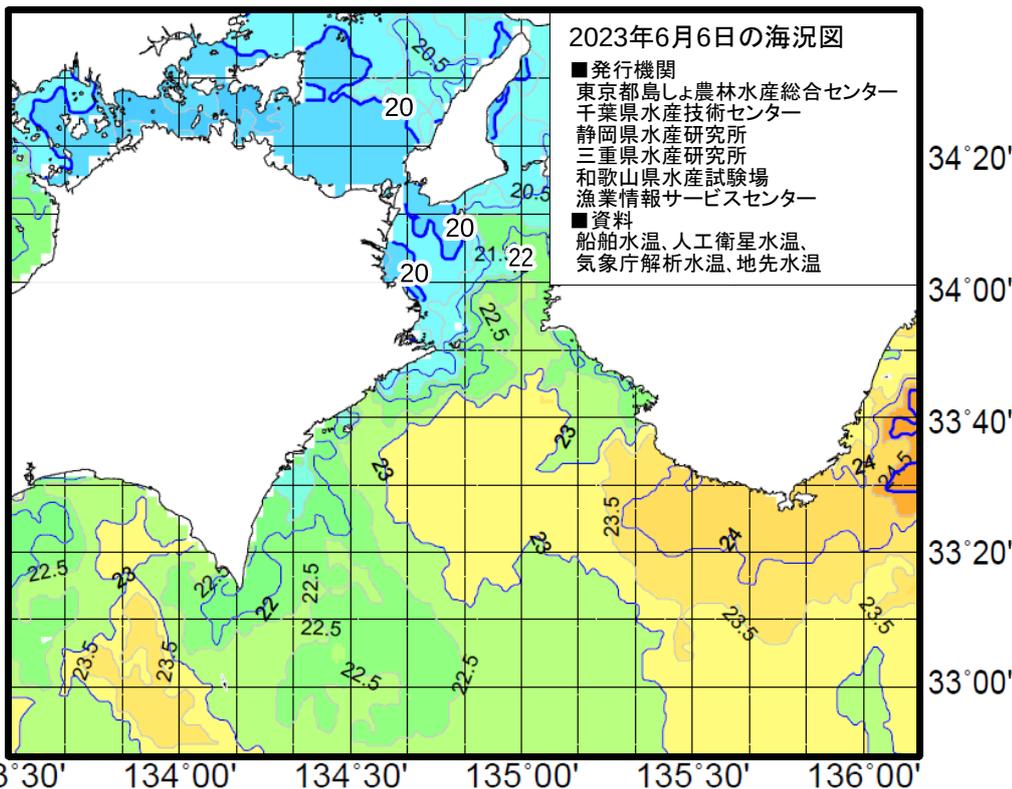
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖120マイル、潮岬沖149マイルを流れ、「著しく離岸」している。引き続き、黒潮は大蛇行で東へ流れる本流とは別に分枝流が紀伊半島沖を西に向かって流れている。そのため、和歌山側より海部沿岸へ暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は23～24℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が19℃台、紀伊水道が19～20℃台、海部沿岸が20～22℃台となっている。

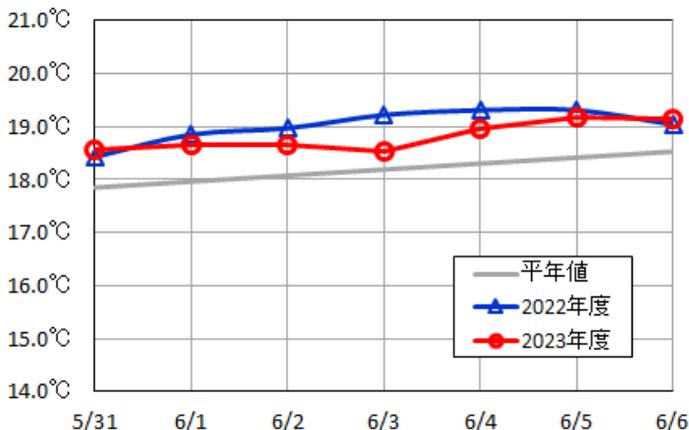


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

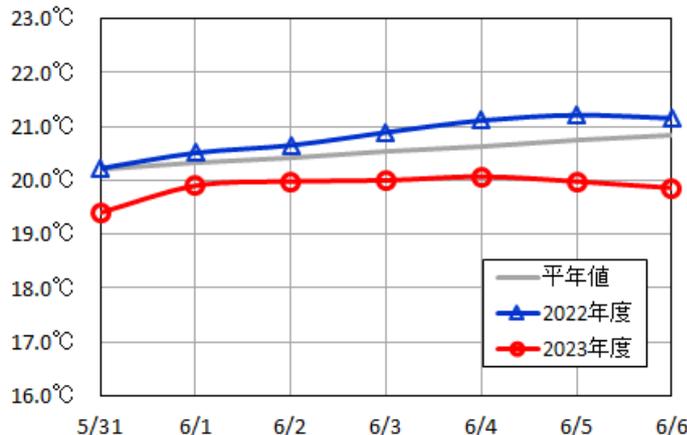
2. 地先水温(5月31日~6月6日)

鳴門地区の水温は、18.5~19.1℃で「やや高め」、日和佐地区19.4~20.0℃で「やや低め」で推移。鳴門と日和佐地区の水温差は0.7~1.4℃で、先週と比べて、若干狭まった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
 ※平年値 1984年~2022年の平滑平均値

3. 週間予報(6月7日~6月13日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも、「著しく離岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、日和佐地区で「やや低め」で推移する見込み。

漁況 (5月29日～6月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが大きく増えて18.9ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に7.1ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大主体に1.7ト、ブリがめじろ級主体に1.2ト、カワハギが大主体に0.5ト、マダイが増えて0.4ト、ころだい類が大きく増えて大主体に0.2ト、マアジが0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて中主体に3.1ト、いとより類が増えて1.1ト、マダイが増えて0.6ト、えそ類が0.5ト、カワハギが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ビンナガが増えて0.8ト、カツオが大きく減って0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて1.3ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく減って0.8ト、マアジが大きく減って0.5ト、マルアジが大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.20 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※	
紀伊水道	船びき網	75	シラス	18,900	252		↗↗	
	延縄	66	ハモ	7,105	108	中主体	→	
	小型定置網		13	イサキ	1,679	129	大主体	→
			15	ブリ	1,244	83	めじろ級主体	→
			14	カワハギ	470	34	大主体	→
			16	マダイ	411	26		↗
			14	ころだい類	220	16	大主体	↗↗
			15	マアジ	216	14		→
		底びき網		30	ハモ	3,089	103	中主体
			27	いとより類	1,081	40		↗
			25	マダイ	566	23		↗
			27	えそ類	539	20		→
			21	カワハギ	300	14	大主体	↗
海部沿岸	釣り	11	ビンナガ	759	69		↗	
		13	カツオ	233	18		↘↘	
	延縄	7	ハモ	1,334	191		↗	
	大型定置網	1	ブリ	762	762		↘↘	
		1	マアジ	482	482		↘↘	
	1	マルアジ	265	265		↘↘		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘